



# かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 2 年 11 月 30 日 第 110 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail:soudan@jousei.or.jp

## 令和 2 年度第 2 回秦野市障害者支援委員会 参加報告

昨年度末から、コロナ禍により神奈川県障害者自立支援協議会をはじめとする県内の協議会は中止、延期が相次ぎ、今年度に入ってからでは書面開催を行う地域が多い印象です。本稿執筆時点で協議会を対面で開催している湘南西部圏域内の地域は、秦野市、伊勢原市のみとなっています。秦野市障害者支援委員会（＝協議会）は、年間 4 回の開催を予定していましたが、緊急事態宣言により令和 2 年 5 月を中止し、7 月から十分な感染防止対策を講じた上で、対面で開催しています。かながわ湘南西障福ナビはオブザーバーとして参加させていただいています。

第 2 回秦野市障害者支援委員会は、令和 2 年 11 月 10 日に秦野市教育庁舎 3 階大会議室で開催されました。秦野市障害者支援懇話会部門（＝部会）の報告では、各部門ともコロナ禍で制約がある中の活動でありながら、就労部門と福祉サービス部門からはサービス管理責任者ネットワークの開催検討、こども部門からは医療的ケア児等コーディネーターの配置検討などの状況報告がありました。新型コロナ感染症対策の議題では、秦野市内の障害福祉サービス事業所でコロナ陽性者が発生した場合の秦野市独自の市内障害福祉サービス事業所への情報提供イメージが説明され、今後実施に向けて調整を行うとのことでした。農福連携では、秦野市が神奈川県の農福連携マッチング等支援事業のモデル地域に指定されている（他には、平塚市、藤沢市）ということで、中間支援組織として位置づけられている秦野市社会福祉協議会から取り組みの説明がありました。当事者委員からは、情報のやり取りが減少する中で、当事者団体が発信する困りを受け止めてくれる、そして、疑問に答えてくれる機関があったことで、とて

も安心できたとお話がありました。このお話から、すべての福祉活動のゴールはその成果が当事者の役に立つことである、という当たり前かつ最も大切な原則を再確認することができました。福祉活動は細分化されて様々な取り組みがなされていますが、いつもこのゴールを見失わないようにしたいと思います。

圏域事業では、多くの会議が Web 開催になっていますが、対面だからこそわかる貴重な情報もあり、直接会って話せる貴重な機会を最大限に活かすことが、障害のある方の生活を支えながらコロナ禍を乗り切るために大切であると実感しました。



## コロナ禍での研修機会から考えること

新型コロナウイルス感染症を念頭に、対面で開催される研修は、法定研修（相談支援従事者初任者研修やサビ児管研修など）以外はあまり見受けられず、Webでの動画視聴による研修が多くなっています。当初は、講師の熱意が伝わりづらくなる、ライブ感がなくなるなどの懸念が聞かれましたが、実際のところは必ずしも、それだけではなく、良い面もあるようです。動画視聴の研修会に参加した事業所に伺ったところ、「これまでは、研修に参加したくても現場の人員配置を維持するために一部の職員しか参加できなかった。今年度はそもそもコロナ



禍で研修会が中止されている中で、事業所内での動画視聴が可能な研修のおかげで、職員が皆参加できる事業所内研修として開催できた」と話されていました。Webの活用により移動に伴う時間や経費が解消され、参加人数の課題がクリアされた良い例です。今年度の神奈川県相談支援従事者初任者研修では、2日間の座学部分が動画視聴となりましたが、「一度聴いて解らなかつた部分を、すぐにもう一度再生して視聴できたので、わからないまま先に進むことが無かつた。そのため良く理解できた。自分の理解のペースに合わせて進められるのがいい。」と話す受講生もあり、研修最終日の修了式では、受講生の7～8割が、動画視聴にプラスの評価を行っていました。初任者研修の開催者である、かながわ障害ケアマネジメント従事者ネットワーク（KCN）によると、「講義の前後で各自が記入する振り返りシートにおける理解度は、昨年までの集合形式での講義と比較して、飛躍的に上がっている」とのことで、コロナ終息後もこの研修形式は残ると考えているそうです。

コロナ禍により様々な弊害が起きている中で、我々の生活には、これまで当たり前のこととして疑わなかつたものを見直す機会が訪れています。長い間続いてきた各種取り組みでも中止が相次いでいますが、それが無かつたことによる悪影響がそれほど無いのであれば、その取り組みの必要性、開催頻度について改めて考える勇気が必要かもしれません。今後社会が大きく変わる可能性があるともいわれていますが、守るべきもの、思い切って変えていくべきものを見極め、選択していくことが、アフターコロナにむけた備えとして大変重要であると感じます。

### 神奈川県ホームページ 「医療的ケア児への支援について」をご存知ですか？

神奈川県では、医療的ケア児に関する大切な情報を、当事者ご家族、支援に関わる機関に直接お届けするため、令和2年3月31日に「医療的ケア児について」ページを開設しました。かながわ湘南西障福ナビからもかつて情報発信したアルコール綿の無償配布などの情報

【注：11月末時点では配布されていません】のみならず、福祉サービス、保護者交流会に関する情報など充実が図られています。このページをブックマークして、大切な情報源としてご活用ください！

神奈川県 医療的ケア児への支援について **検索** 

【あとがき】前号でご案内した、圏域相談支援NW、重心・医療的ケア支援NW会議の内容の掲載は、紙面の都合で割愛させていただきましたが、令和3年4月発行の令和2年度活動報告書で確認いただけますので、ご了承ください。2021年が最高の年になることをお祈りします。